

番組審議会資料（第17回、令和3年8月 書面にて）

1 開催年月日：令和3年8月（委員のご意見は9月末日まで）

2 開催場所：今回は紙上にて

3 委員

委員総数 8名

委員の氏名：足立盛二郎（元公益財団法人 日本棋院理事、

元ゆうちょ銀行取締役兼代表執行役会長・日本郵政取締役）、

兵頭俊夫（大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

物質構造化学研究所 ダイヤモンドフェロー）、

野田慶人（日本大学 芸術学部 前学部長）

音 好宏（上智大学 文学部 新聞学科 教授）、

中村幸雄（オフィス・サンライズ 代表、

損害保険ジャパン日本興亜株式会社 顧問、

元株式会社損害保険ジャパン 代表取締役専務・監査役）、

金子光男（明治大学名誉教授・経済学博士、

株式会社 中央クリエイト社役員）、

清水市代（将棋女流棋士／

公益社団法人日本将棋連盟 常務理事・女流棋士会 監事）

吉原由香里（囲碁棋士）

4 議題

- ・特別番組について
- ・講座番組について
- ・藤井聡太関連番組について
- ・生放送について
- ・新しい取り組みについて

5 議事の概要

(1) 特別番組について

「仲邑 菫二段特別対局 2 vs レジェンド林 海峰名誉天元」

(2) 講座番組について

山根ことみの将棋中級講座「解けるかな？ 詰将棋チャレンジ」

星合志保の囲碁初級講座「ホッシー教官の囲碁初心者教習所」

(3) 藤井聡太関連番組について

「第28期銀河 藤井聡太の素顔」

- (4) 生放送について
- (5) 新しい取り組みについて

6 詳細（各番組の内容）

(1) 特別番組について

「仲邑 菫二段特別対局 2 vs レジェンド林 海峰名誉天元」

（初回放送：2021年5月28日）

仲邑二段とレジェンド棋士が対局するシリーズの第二弾。今回は林 海峰名誉天元との対局を企画した。最年少昇段、女流棋戦ベスト4入りなど、成長著しい仲邑二段。対局結果は林名誉天元の勝ちとなったが、期待にたがわぬ熱戦を繰り広げた。（284手まで白番・林名誉天元の勝ち）。番組人気は高く、今後もレジェンド棋士との対局を番組で紹介していく予定。

(2) 講座番組について

山根ことみの将棋中級講座「解けるかな？ 詰将棋チャレンジ」

（初回放送：2020年12月～2021年2月）

詰将棋を題材にした講座番組。冒頭は7手詰の問題として出題し、時間経過とともに5手詰、3手詰と徐々に手数を縮め、問題を簡易化させることで、幅広い棋力に対応させるという新しい試みを実施。将棋ファンが急増し、将棋プレミアム登録者では「ルールが分かる程度」の棋力のお客様も多い。初心者でもとっつきやすい詰将棋、初心者でも分かる内容で人気が高かった。

星合志保の囲碁初級講座「ホッシー教官の囲碁初心者教習所」

（初回放送：2020年12月～2021年2月）

囲碁の“硬い”イメージを払拭し、初心者が気軽に観られるように、試験的にビジュアル面をポップな表現にした。

さらに、初心者が理解しやすいように「囲碁の手筋」や「基本的な考え方」などを“交通ルール”に例えて解説した。

(3) 藤井聡太関連番組について

「第28期銀河 藤井聡太の素顔」（初回放送：2021年6月26日）

新竜星位、新銀河位のプライベートに迫る「素顔」シリーズに藤井銀河が登場。SKE48で愛知県出身・将棋好きの鎌田菜月さんとの“愛知対談”。そして、竜星戦3連覇中の一力 遼竜星との“プライベート対談”。さらに、類まれなる将棋能力を探るべく、初見の盤面を覚え、駒の配置を盤面に再現する“実験”など様々な角度から藤井銀河に迫った。将棋プレミアムではメイキングも公開。

(4) 生放送について

「第 71 期 ALSOK 杯 王将戦 二次予選」

(生放送：2021 年 6 月 30 日、7 月 13 日、7 月 28 日、7 月 30 日)

今年は二次予選から生放送を実施した。当チャンネルでしか観られない生の対局を今後もコンスタントに放送し、秋からの挑戦者決定リーグ戦～来年の七番勝負まで、視聴者をワクワクさせるとともに更なる視聴率アップを狙う。

(5) 新しい取り組み

新竜星戦、新銀河戦(2021 年創設・新棋戦)

竜星戦・銀河戦優勝者、直近の決勝トーナメント進出者、女流タイトルホルダー、囲碁将棋チャンネル推薦棋士、総勢 32 名のオールスターによるトーナメント戦の新棋戦「新竜星戦」「新銀河戦」を立ち上げた。見どころは「超早碁（早指し）」。持ち時間各 1 分で開始。1 手打つごとに 5 秒加算されるフィッシャー方式で、スリリングでスピード感あふれる対局が見どころ。

「新竜星戦」は、囲碁プレミアムでは 7 月より配信中。チャンネルでは 10 月より放送予定。「新銀河戦」は現在制作中。

7 委員より届いたご意見ご感想（要約）

(足立委員) 将棋は藤井三冠、囲碁は仲邑二段という若いスターが誕生したので、この機会に学校囲碁普及状況について現場取材をして放送してはどうかと思う。将棋文化、囲碁文化普及には若い人達に興味を持ってもらうことが大切だと思う。

また、スマホが大変普及しているので、スマホで楽しめるゲームやアニメを制作してみてはどうか。

(兵頭委員) 「ホッシー教官の囲碁初心者教習所」は、よく考えられた簡潔な入門講座だった。これを見れば、九路盤、十三路盤、十九路盤の序盤・中盤の基礎が身につくでしょう。いやでも経験するシチュウが出てきても「石数の優劣」でスルーし、むしろ教えられないと気づきにくいポイントを精選していることに感心した。練習問題で、選択肢の A、B、C は直接石に書いてあり、解説手順用の 1、2、3 は画像処理で書いたり消したりするのは、解説者が説明に集中でき、視聴者にとってもストレスなく理解できる優れた工夫と感じた。

新竜星戦は、フィッシャー方式のプロ棋士の早碁を一局まるごと短い実時間で観戦できるのが魅力。現代向きだと思う。最後にある「ポイント解説 好手発見」も分かりやすく勉強になる。

(音委員) 藤井聡太関連として「素顔」シリーズに藤井聡太氏が登場したことが紹介されていたが、「素顔」シリーズに限らず、チャンネル全体としてヒューマンイ

ンタレスト的要素のある番組はもう少し増やしても良いのではないだろうか。

棋士たちの多様な姿は、視聴者は見たいはずである。但し、取り上げる棋士達をただ褒めたたえるのではなく、批判的視点、ジャーナリスティックな視点でとらえ、紹介してほしい。

(中村委員)

- ・特番で取り上げた仲邑二段とレジェンド棋士との対局や、藤井三冠に注目した番組構成は、二人の人気の面からも引き続き取り組んで頂きたい。

- ・実際に将棋を指さないが、対局風景や食事のメニュー、解説や司会者の話を楽しんでいるファン層も増えている。テレビ以外に気軽に視聴できる携帯端末などで仕事や家事の合間に情報を見て楽しんでいるファンも多い。多様化する様々なルートで情報を発信し囲碁・将棋チャンネルの魅力ある番組を宣伝することも必要かと感じる。

- ・芸能人、お笑い芸人など将棋の好きな方も多い。女性や子供の将棋ファン向けにはコラボ企画も面白いかもしれない。早指しの解説を棋士の所作から何かを読み取って実況解説（ゲーム解説的な）をすると、若い人には面白いかもしれない。
<参考>将棋を良く知って話術のある芸人：かまいたち山内、サバンナ高橋、小藪一豊、インパルス板倉

(金子委員)

- ・仲邑二段とレジェンド棋士との対局は、私のように囲碁に疎い者にとってもスリリングな番組であり、これを通じて囲碁ファンを広げることになると思う。マンネリにならぬよう、工夫をしながらこの番組を育てて行ってほしい。

- ・詰将棋は将棋の面白さを知らせる貴重な方法の一つではないかと常に思う。この種の番組・企画を充実させて行っては如何か。

- ・藤井三冠関連の番組は誰にとっても興味深いものであろうと思う。私としては、藤井三冠の素顔・才能を引き出せる多様な対談を観てみたい。あるいは高段棋士による「藤井聡太の将棋」の強さ、魅力を論ずる番組を一度は見たいものである。

以上